
隔週刊「77歳が送る農業文化マガジン『電子耕』 第83.1号

-健康・農業・食・図書・人物情報・高齢者と若者の交流誌-

2002.5.16(木)発行 西東京市・ひばりが丘 原田 勉

*****発行部数 1711 部*****

<キーワード>

健康・食べ物・農林園芸・図書を中心とした雑学情報を提供し、庶民の歴史も残す。高齢者と若者の交流ミニコミ誌。お互いに情報を交流しましょう。

-高齢者と若者の交流・健康・農業・食・図書・人物情報-

★83号は分量が送信規定量を超えたため83.1号と83.2号に分かれています。

ご了承ください。

目次-----

<読者の声>5/3 栢沼さん、5/3 吉田さん、5/3 田んぼのおばさん、5/4 栢沼さん、5/5 Ya-san さん、5/6 浜田さん、5/9 長谷田さん、5/11 西羽さん、5/15 立石さん

◎メルマガ『電子耕』読者アンケートのコメント集(1)

<読者の声>ここはメール交換の場です。編集者はコメントしない場合もありますがこれは、メールを無視したわけではなく、読者同士の交流にゆだねるという意味ですからご了承下さい。-----

<読者の声>

■5/3 栢沼さん

いつも楽しく拝見しております。電子耕を出版するそうで、大変ご苦労様です。どうぞ、お体に気を付けて頑張ってください。

■5/3 吉田さん:

いつも「電子耕」愛読させていただいております。

今朝発信しました「ブナ林グループ」の方々への

メールに「電子耕」所載の貴文章を転載させて

いただきました。下記のような転載なので、ご諒承くだされば幸甚です。

情報資料の送付は一日数通送っていきまして、やはり

「感動させられる」情報、「かながえさせられる情報」

「ぜひ知っていただきたい情報」で毎日のネット上で
気づいたものを選んでいきます。英文のものは IBM のソフト
による粗末拙速気味の日本語訳をほんの参考に添付しています。

みなさま〔「ブナ林グループ」としてアドレス帖にある方々〕

毎日世界・日本の情報メールをお送りしています。

随時更新の「ブナ林便り」

<http://members.jcom.home.ne.jp/goloh/>

のほうは間単になかなかキイが打てないので、生の資料をお分けすることで気を紛らせております。お許してください。私はまだパソコン一年生に過ぎないわけで、多くの大先輩の方々がおられるし、情報資料の中にはすでに承知済みあるいは独自に早くから入手されている重複する資料も多いかと存じます、そういう先輩の方々には自分のパソコンが無駄に込み合いすぎるといふ方もおありではないかといつも心配しております。いつでも、もうおくらなくてよいと気楽にお知らせください、念のため。

(中略)

わたしが愛読しているメルマガのひとつに、隔週刊の「77歳から送る農業文化マガジン」『電子耕』〔原田勉発信〕があります。この82号が今朝届いていました。刺激的な良い文章がありました。ご紹介します。

原田 勉

tom@nazuna.com

<舌耕のネタ> 「感動が人をゆり動かし、学ぶ心、長寿ともなる」

(以下略)

<http://nazuna.com/tom/2002/82-20020502.html>

参照

■ 5/3 田んぼのおばさん：問題が山積みで、

『メディア3法案』について「黙っていていいのか」とのご指摘に、相変わらずPTA会長の複雑な心境をお話させてください。

昨年、市教委が問題の教科書を採択するのではないかとこのうわさがあり、PTA会長たちが教育委員会へ傍聴へおしかけたり、反対の立場を表明したりといった動きもしました。また、年度後半は4月からの新学習指導要領実施に関して、文部科学省の役人と意見交換をしたり、行政との駆け引きなども経験。そして、つい最近はある事件に関係した中学校教員の件で学校のガードにもかかわらずマスコミが生徒へのインタビューをするなど、PTAとしてどう対処するべきかといった悩みは尽きません。

子どもたちのことを第一に考えたい学校の現場と、それを取り巻く世の中の動きの関係に、メディアにかかわる人々の見識を疑うような場に多く遭遇してきたという印象です。

言論の自由、報道の自由、知る権利……。であればこそ、そこに携わる人間の意識も、つねに他者への配慮のあるものであってほしいと思うのです。近頃は、プレス発表を利用しようとする為政者もいるようです。そういったやり方が、われわれのような立場の人間の善意を踏みにじることもあります。メディア関係者は『自分たちが利用されている』ことも知っての上で情報を垂れ流しているのではないかと疑いたくもなります。

確かに、今取りざたされている『メディア3法案』がそのまま通るようなことがあれば、この国の行く先がどうなっていくのか、恐ろしいものがあります。情報は正しく伝えられるべきで、何者かが隠したり操作したりすれば戦前のように国民が誤った方向へ導かれる恐れもあるわけです。

が、被害者の人権より加害者の人権が重視されるような今のこの国で（これはいいすぎでしょうか？）、言論の自由を守ろうとするジャーナリストこそ、もう少し己に厳しくなってほしいなどと思うのは、あまりにも暢気なのでしょうか。

そんなことを思ううちに1年が過ぎ、また農作業の季節がやってきました。

この春、田んぼのオーナーのお宅で相続のために田んぼを一部手放しました。農地として必死に守ってきた『田んぼ』が税金の換わりに取り上げられ整地されて分譲される（アパートが建つようです）ということが残念でなりません。農業を続ける意思のある若い人なのに。

子どもたちのこと、学校や教育のこと、環境、農業、e t c. . . . 考え

なければならない問題が山積みで、何から考えたらいいのかもわからない有様です。

電子耕での皆さんの意見交換には、日々刺激を受けています。(最近ちょっと専門的かなと感じていますが。) 投稿しないからといって何も考えていないわけでもないのですが、たまに『意見はないのか!』と声をかけていただくことも必要ですね。 ちょっと長くなりました。ご容赦下さい。

田んぼのおばさん

■5/4 栢沼さん：メディア3法案については、
メディア3法案については、絶対反対です。この所、日本国内での右傾化が目立ちます。我々、一般国民の努力により廃止、廃案にしたいものです。

- 1) 小泉首相突然の靖国神社参拝。
- 2) 急ぐ、有事法案。
- 3) メディア規制法案。

何か、戦前の大政翼賛会が復活しそうな気がします。
特に、メディアにつきましては、国民の、言論、報道の自由を規制する悪法です。何といたしましても、阻止しなくてはなりません。政府は、忘れてしまったのですか? 国民にとって、もっとも大事な、景気対策、雇用対策、斡旋利得罪(秘書に拡大)の成立等に努力すべきです。

■5/5 Ya-san : (アンケートに意見多いので、下記に紹介)

■5/6 浜田さん：
つとむ・はらだ様
突然のメールで失礼します。

はじめまして、この頃すずき産地へ時々おじゃましています「ぞうりや」の浜田と申します。

> ★転送大歓迎★
>

- > イージス艦、出してもらっていいですか？
- >
- > って、海上自衛隊の幕僚が米軍の司令官に頼んだって？！
- > そんなことあっていいの？！
- > 軍隊って、自分が出たいと思って出るものなの？
- > なんかへんじゃない？！
- >
- >
- >
- > 【朝日新聞】02.05.06(03:08) asahi.com
- > イージス艦派遣、海幕が米軍に裏工作 対日要請を促す
- >
- > 「防衛庁海上幕僚監部（海幕）の幹部が4月10日、在日米海軍のチャブリン司令官を横須賀基地に訪ね、海上自衛隊のイージス艦やP3C哨戒機のインド洋派遣を米側から要請するよう働きかけていたことがわかった。米政府がその後日本側に持ちかけた派遣要請の裏側に、海幕幹部の工作が存在した形になる。米軍支援をめぐる制服組の独走ともいえる事態で、文民統制（シベリアンコントロール）の危うい現状が浮き彫りになった。」

（以下、記事が続きますが「正当な引用の範囲」を超えているのでここでは略します。）

- >
- >
- > こんな自衛隊はしんじられない。
- > こんな国に、あんなあいまいな有事法制はきけんです。
- >
- >
- > ゆうじほうあん、そんなにいそいでどこへいく？
- >
- > おいらはじごくえはいきたくない。 hana
- >
- > http://www.geocities.com/ceasefire_anet/misc/yuji_index.htm
- > せんそうに巻き込まれる有事法制なんか嫌だモーン YUJI*STORY 見た？
- > \\\\ http://www.geocities.com/ceasefire_anet/index-j.htm
- > (ë) 停戦委員会 HP だよ

> △ <http://page.freett.com/smile777/>
> Slow, but Steady Voice of peace
> ひ み つ http://www.geocities.com/nl3854/yuji/yuji_index.htm
>

■ 5/7 浜田さん

転送依頼のメールが来ましたので、転送させていただきました。
よろしかったらお受け取りください。浜田正博

> --- 吉田真紀子 <truce@anet.ne.jp> からのメッセージ :
>>
>> お世話になっております。 停戦委員会の吉田まきこです。
>>
>> 最近入った衝撃的なニュースを、すでにご存知とは思いましたが
>> お伝えさせてください。
>> 合わせて、現在審議中の有事法制案の危険性についても、ご一考
>> いただければと思い、呼びかけ文のような形で書かせていただきました。
>>
>> 以下の文は転送歓迎です。
>> 取り返しのつかなくなる前に、たくさんの方にお知らせください。
>>
>> ***** ここから転送 *****
>>
>> 避けられる戦争はなるべく避けたいとお考えのすべての方へ。
>>
>> 5月6日の朝日新聞 (a s a h i . c o m) の記事が、非常に重大なことを報道しています。
>>
>> 防衛庁海上幕僚監部の幹部が、在日・米海軍の司令官を横須賀基地
>> に訪ね、海上自衛隊のイージス艦やP3C哨戒機のインド洋派遣を米側か
>> ら日本政府に要請するよう働きかけていたというのです。そして実際に、
>> 米政府はこれらの働きかけを、日本に行いました。
>> これは、大変なことではないでしょうか。自衛隊は、文民である政府
>> の指示、国会の決議に絶対的に従うからこそ、軍の独走の危険がないこと
>> が保証されているのであって、自衛隊のほうから政府を動かそうという工

>> 作が裏でなされるなどということは、決してあってはならないことです。

>>

>> 私たちは、日本の国の一員として、このことに厳重に抗議する資格をもっています。そしてこの件にかんする限り、首相はじめ、内閣、国会議員などのすべての文民は、このことを許さない立場にいるはずです。

>> 私たちは、これらの文民、私たちの社会の守り手を応援し、励まし、

>> このことに抗議するとともに徹底的に調査し、事実を明らかにして必要な措置をとるよう求めることができます。

>> また、マスコミに、私たちはこのような報道を重要だと考え、さらに調査して報道して欲しいのだと伝えることができます。

>> 私たちは、おかしなことに慣れてしまっていて、かなりひどいことになっても黙っている癖を身につけてはいますが、本当に譲れないときには声をあげていいのだと、自分の友人達に伝えることができます。

>> まずはこのメールを転送することから始めてくださってもいいと思います。ひとことご自分のメッセージをつけてくだされば、さらにいいですし。

>> もう一つ、このニュースから重要なことがわかります。

>> 現在、審議されている有事法制案は、簡単にいうと、有事の場合に自衛隊や在日米軍が円滑に行動できるようにするという内容です。有事かどうかを判断するのは日本政府だということになっています。そして、日本政府に判断に必要な情報を提供するの、主に米軍・米政府です。

>> ところがその米軍に、自衛隊が「日本政府にこうってほしい」と要請を出すことがあるとわかったのですから、事態は違った意味をもってきます。

>> 自衛隊が、自らのねらいを持って、有事法制が発動するようにはたらかける可能性があるということです。これでは、軍部のクーデターを可能にする法律ということになりかねません。

>> 私たちは、今回報道されたことについて調査し、事実が明らかになって、しかるべき対策がとられるまで、有事法制を審議せずに凍結させておくよう求めたほうがいいかもしれません。少なくとも、この法案が危険であることを、多くの人に知らせることは必要だと思います。

>>

>> 停戦委員会は、このようなときに役にたつように、

>>

>> 武力攻撃事態への対処に関する特別委員会 委員名簿

>> http://www.geocities.com/ceasefire_anet/misc/yuji_committee.htm

>>
>> 首相官邸や、国会議員、マスコミの連絡先などを集めたページ
>> http://www.geocities.com/ceasefire_anet/action.htm
>>
>> をつくりました。どうぞご利用ください。
>>
>> また、有事法制についてのサイト YUJI * STORY
>> http://www.geocities.com/ceasefire_anet/misc/yuji_index.htm
>>
>> も、興味のある方は是非ご覧ください。
>>
>> このメールは、停戦委員会の有志を代表して、
>> 吉田まきこ truce@anet.ne.jp が書かせていただきました。
>> お読みいただきありがとうございました。
>> よろしければ多くの方に転送をお願いいたします。
>
> http://www.geocities.com/ceasefire_anet/misc/yuji_index.htm
> せんそうに巻き込まれる有事法制なんか嫌だモーン YUJI * STORY 見た?
> \\\\ http://www.geocities.com/ceasefire_anet/index-j.htm
> (ë) 停戦委員会 HP だよ
> △ <http://page.freett.com/smile777/>
> Slow, but Steady Voice of peace
> ひ み つ http://www.geocities.com/nl3854/yuji/yuji_index.htm

■ 5/7 Ya-san

「有事法制・メディア規制について」

法案をよく読んでいません。あくまで一般論として申し上げます。

これらはセットで考えたほうが分かりやすいでしょう。戦争なんてやるときこそメディアを規制したいはずです。これらは何度も何度も提案されては引っ込めるが繰り返されてきました。いいかげん地ならしができたということでしょうか？野党も含めた政治家どもが保身に終われ、まともに考えられなくなっているところのドサクサ紛れに出してきた、実にいやらしいやり方です。掛け声ばかりで何も実行できなかった落ち目の内閣の、散り際のやけっぱちという感じですよ。

もう何年も前の話ですが、ラジオ番組で、ある女優さんが「もし戦争が起きたらどうするかと考えることがそもそも戦争の始まりなのだ。どうしたら戦争にならないで済むか、いかにして戦争を防ぐかを必死に考えることが重要であって、それが日本国憲法なのだ。」と、私が勝手に解釈したような内容のことをおっしゃっていました。そのとき、まさに目からうろこでした。

戦争の準備などはきりのないことです。しかもいつどこでやるかはっきりしなければなおさらです。自分の手元に大きな軍事力があるとき、感情的な対立が容易に戦争に発展します。特に自分に圧倒的な軍事力があればなおさらです。イスラエルのやり方が良い例です。そして絶対にそのやり方では問題は解決しないのは明らかです。双方が本当に武器を捨てて話し合いをしない限り平和はやってきません。

メディア規制は、あってはならないことです。しかし、多くの心無い「出歯亀」マスコミによって生活をむちゃくちゃにされたたくさんの被害者がいます。彼らを救済して損害は償わされなければなりません。また、大新聞社などが自らの誤った報道（警察のミスにしても）で被害にあった方たちへの救済に消極的なのは情けないことです。新聞の隅っこに訂正記事が小さく載るだけなのでから。言論は自由ですが、だからこそ言ったことにはきちんと責任をとってもらえばよいのです。今のほとんど機能していない司法改革を、陪審制度を導入するとか司法試験を資格試験にして弁護士を大幅に増やすなどして早急に進め、迅速で適切な裁判を受けられるようにすればかなり改善するでしょう。

これらの法律の最大の問題は「国民の権利や生活をいかにして守るか」という発想から生まれたものではなく、「いかにして制限するか」という発想から生まれているということです。この国では、常に国民を規則でがんじがらめにしていかに管理するかということだけがなされてきました。小学校以来の教育がその典型です。人権は守られていません。人権を守るとは、即ち、いかに一人一人が自由にのびのびと暮らせるかということにほかなりません。そして、人権の根本は生存権です。生きていなければ自由も平等もありません。そして、生存権とは、「安全で新鮮でうまい食べ物を腹一杯食べる権利」に外なりません。それはまさに農業のあり方につながることです。農業を大事にしない国に人権などそもそもないのです。

というのが私の考えでして、即ち、農業問題（食糧問題）の解決なくして、社会問題の解決なしです。ですから、もちろん、しょうもない法律は反対ですが、

それよりなにより農業です。もっと皆で真剣に何とかしないと戦争する前におかしくなってしまう。(もうなっているというべきかもしれませんが。・・・)

.....

Ya-san

■5/9 長谷田さん：73歳のジャズピアノ・・・

73歳のジャズピアノ・・・原田 勉の同級生・・・長谷田 武のメール

去る4月29日、横浜市北部の小さなジャズクラブでジョン・プールジャズ教室の生徒達によるコンサートが開かれた。7番目に登場したのが、73歳の私、長谷田 武・・・ドラム、ベースの共演で名曲の ALL OF ME をアドリブも含め4コーラス演奏。・・・娘より若い、孫に近い出演者のなかで異色であることは間違いない。その同情もあってか一際大きな拍手を戴いた。70歳で電子ピアノを購入し、外に聞こえないようイヤホンで毎日欠かさず3年間勉強した結果である。ジョン・プール先生からは驚異的な進歩で若い人の励みになっているとの賞賛を戴いた。

その歳で何のために弾くのか、誰のため弾くのかなど、そんなことはどうでも良い。自分が満足し新しい音の世界に没頭していればいいのです。そして老人でも確実に進歩していきます。私の若い時に比べ近年のジャズプレーヤーはものすごく進歩し世界的なレベルに到達しています。・・・もう老人はそんなレベルを願うことは出来ませんがコード(和音)にb9、#11などいろいろなテンションの音を加えより高度な変化をもたらすアドリブを作っていく面白さがたまらないのです。

学生時代の闇屋を振り出しに進駐軍のジャズバンドのギター弾き、公務員、スタンドバーの経営、市長選挙・衆議院選挙の裏方、不動産業などなど何でもやってきました。そして今でも現役・・・その間健康も害し、癌にもかかりましたが未だ生きています。人間何時か確実に死ぬ。その時が分からないのが良い。死ねば全てがなくなりそれで終わりです。最近仲間が次々に他界し寂しくなった。私も棺桶に入る時、いろいろあったが人生精一杯生きてきたねと笑って死にたい。いい人生だったとね。・・・それまではジャズの音を楽しみ続けていくつもりです。原田 勉の友人にもこんなおじいさんがおります。

・・・そしてパソコンもやっています。初メールを送ります。

■5/11 西羽さん、

初めまして。兵庫県西宮市の西羽 潔と申します。インターネット上に蓄積された数多くの戦争の体験記や記録を、リンク集という形でまとめ、後世に語り継ぐ一助としたい、という趣旨で、「戦争を語り継ごう ―リンク集―」というホームページを作成しております。URLは次のとおりです。

<http://www.rose.sannet.ne.jp/nishiha/senso/>

このサイトも開設以来約1年半になりますが、アクセス数も約8万回と、多くの方々に厚いご支援をいただいています。また掲示板等にも、熱心なご感想、ご質問を頂戴しています。とくに、10代、20代の若い世代からも、あの戦争のことをもっとよく知りたいというご意見が、思っていた以上に寄せられています。

そこで世代間の交流を通じて、戦争を語り継いでいく場として、このたび「戦争を語り継ごうML」というメーリング・リストを立ち上げました。

戦争を体験した世代もだんだん少なくなり、戦争体験も風化しつつあるおりから、ぜひこのメーリング・リストにご参加いただき、明日の日本を担う若者たちに、戦争の実態を語り伝えていただきたいと、お願いするしだいです。

ご参加いただく場合は、次のページを開いて、内容をご覧の上、お申し込みください。なお会費は無料、またいつでも自由に退会できます。

<http://www.rose.sannet.ne.jp/nishiha/senso/mlsanka.htm>

西羽 潔 Kiyoshi NISHIHA

Email nishiha@rose.sannet.ne.jp

戦争を語り継ごう ―リンク集―

<http://www.rose.sannet.ne.jp/nishiha/senso/>

■5/15 立石さん

るいネットの厳選〇サイトからリンクをたどってきました。

<http://www.rui.jp/>

随分、前にみて以来、ずっと貴サイトのファンでした。そのパワーを分けて欲しいです。感想も寄せられてるので、そちらを見ていただいてもいいんですが、よろしければ、会議室のほうも覗いていただいて、ご意見いただけたら嬉しいです。

環境・農業の会議室がありますので、そちらでぜひ。他にもいろんなジャンルがあります。

うちのサイトの主幹さんは60才です。お年を召した方の方ってすごいですね。そんな人たちがひょっとしたら社会を変えていくのかもしれない。私たち若者もがんばらないとって感じですね。私も一応、会議室でがんばっています。

ではお忙しいところ失礼しました。何だ？と思って、覗いていただければ幸いです。

◆編集アシスタントコメント

リンクされているのは全く知りませんでした。

るいネット

<http://www.rui.jp/>

の左上「厳選〇（マル）サイト」をクリックしてサイト名に「電子耕」を入れると当サイトが現れ、登録会員の方々の5点満点の評価累計40点と感想投稿が17件もあるではありませんか！各投稿の左の番号をクリックすると各人の感想全文が読めます。

知らないところでこんなにも評価されていてびっくり感激です。

再び前号につづいて趣旨徹底のため<読者の声>投稿者へお願い。

◎メルマガ『電子耕』読者アンケートのお願い 2002.5.16 原田 勉

この度、私が発行している『電子耕』の体験をまとめて、ある出版社から新書を刊行する予定です。

つきましては、編集の参考として貴方さまが読者の立場から、何に興味をもって読んで頂いているか。次の項目などについて教えて下さるよう、お願い

申し上げます。回答は二つ以上になっても構いません。締め切りは5月27日までに、お願い致します。(すでに回答済みの方は有り難く拝見しました)

(アンケート項目)

0、単に興味があったから。面白かったから。でも何でも結構です。

(次の項目を主に読んでいる、という例として参考に挙げました。該当する所があったら丸を付けて下さい)

- 1、<読者の声> (若い人の声、主婦の声、シニアの声、その他)
- 2、コラム<舌耕のネタ> (嫌いだ、おおかた賛成だ、反対でも面白いなど)
- 3、<健康情報> (長寿の秘訣、病気のいろいろ、健康法など)
- 4、<農業情報> (山崎農研の情報、時の農業問題、菜園だより、など雑学)
- 5、<農業・図書情報> (新刊図書、話題図書、農文協図書館情報など)
- 6、人物紹介、庶民の歴史、近藤康男の近況報告、など
- 7、編集・発行人の考え方 (ミニコミ誌として、賛成・異論がある? など)
- 8、その他、(コメント) ご意見を聞かせて下さい。

(お願い)

なお、投稿・寄稿者からの文章の一部引用は、刊行まえに諾否のお伺いをeメールで致しますが、ご返事のない場合は掲載致しません。

投稿者のネームは原則として英文の頭文字 (イニシャルで、原田勉はT.H) の表示としますが、ハンドルネーム、或いはご指定の氏名をご希望の方はお申し出ください。

本の発行期日などが確定したら、『電子耕』でお知らせ申し上げます。

また、原稿料のお支払は出来かねますが、印税の一部を「日本骨髄腫患者の会」「全国骨髄バンク」など難病支援組織に寄付することでご了解下さるようお願いします。以上なにとぞ、よろしくお願い致します。

ご返事をお待ちしております。 原田 勉 tom@nazuna.com

◎メルマガ『電子耕』読者アンケートのコメント集 (イニシャルで・到着順)

◆5/3 M.Oさん：ミニコミというには重いと思いますが、編集・発行については共感をおぼえます。隔週で発行することには大変なご苦勞があると思います。

<読者の声>でもっと交流ができればと思っています。自分より若い方が農業や世のなかの諸問題をまじめに考えていると知ることは、救いです。この国もまだまだ希望が持てると。

◆5/4 A.Kさん：

- 1、＜読者の声＞◎シニアの声
- 2、コラム＜舌耕のネタ＞◎おおかた賛成だ
- 3、＜健康情報＞◎（長寿の秘訣、病気のいろいろ、健康法など）
- 7、編集・発行人の考え方 ◎賛成

8、その他、（コメント）

原田 様

栢沼です。いつもご苦労様です。どうぞ、お体にお気を付けて、頑張ってください。

◆5/5 Y.Yさん：

1、＜読者の声＞（若い人の声○）年配の方の投書は少しくどいと思います。

2、コラム＜舌耕のネタ＞（おおかた賛成だ○）右翼のテロが怖くて新聞が書かなくなったことをまともに書いてくれてスッキリします。

4、＜農業情報＞○（山崎農業研究所の情報、時の農業問題、雑学）
山崎農業研究所がいったい何なのか良く分かりませんが。

5、＜農業・図書情報＞○（新刊図書、話題図書、農文協図書館情報など）
この間のブックフェアで「日本農書全集」12・13を買ってきました。それにしてもこの種の本は特に高価ですね。多くの人に読んでもらうためにも安く出版する努力がなされるべきで、出版会の旧態依然としたやり方にあきれます。デジタルパブリッシングなどと少し技術革新があるようですが、構造改革がここにも必要だと感じました。農文協も例外ではないはずです。

7、編集・発行人の考え方）基本的に賛同できる内容です。とても丁寧に書かれていて頭が下がります。

8、その他、（コメント）

農業の復興のための具体的提案や、各地の生産者同士の意見交換などの場として機能してほしい。外野が騒ぐだけでは面白くありません。

個人的には、農地は都市の中にこそあるべきで、都市計画の中に農地もきち

んと位置付け都市住民に食料と緑地を提供する場とすべきだと思います。農地の開発のために山を削り海を埋め立てるのは、やめなければなりません。農地を区画整理したところが安易に開発がなされショッピングセンターなどになっています。一方開発農地は売れ残り荒地を増やしています。でも、なかなかつまらない条件をつけて新規参入はさせません。お先真つ暗に思えます。

◆5/8R.Yさん：

> 0 原田さんだから、きっと面白い、ためになるメルマガになると思い、毎回かさず家内と読んでいます。はたしてその通りです。

> 1、〈読者の声〉○シニアの声)

> 2、コラム〈舌耕のネタ〉○反対でも面白いなど) →公式的な議論よりも少し元気のいい意見、納得の行かない意見も一つの意見として面白い。まじめである限り。

> 3、〈健康情報〉→○健康である訳ではないが、あまり自分の体や健康について熱心ではない。でも「へーそうか」と言うようなものがあって、興味深い。

> 4、〈農業情報〉○雑学) 農業問題、菜園便は興味深い。

> 5、〈農業・図書情報〉○適時読むが、あまり熱心ではない方か？

> 6、人物紹介、○近藤康男の近況報告

> 7、編集・発行人の考え方

○発行する人も読者も面白いのではないか。対話式なので、身近に話しているようで、良いと思う。

> 8、その他、(コメント) ご意見を聞かせて下さい。

○こんな多くの内容のものを発行するにはかなりの体力が要ると思います。読む方は簡単ですが。私はこの3月まで学生と話していたことが多かったせいか、シニアのご意見に興味がありました。いろいろと教えられます。しかし今後は若い世代のとの対話が重要であると思います。今からも体力に合わせて無理をせず、発行されることを期待いたします。

◆5/8H.Mさん：

- 1、<読者の声>毎回、面白く読んでいます。
- 2、コラム<舌耕のネタ>読むたびに、自分の責任を感じさせられます。
- 3、<健康情報>原田さんの生きかたについて、いつも感慨深く読んでいます。
- 4、<農業情報>環境クラブの参考にしています。
- 5、<農業・図書情報>環境クラブの参考にしています。
- 6、人物紹介、庶民の歴史、近藤康男の近況報告、など
20世紀を生きた人達の生き方について、感じさせられます。
- 7、編集・発行人の考え方
ミニコミ誌の運営としては、成功している方だと思います。
- 8、その他、(コメント)
「今の水準、雰囲気を持続して続ける」
これが簡単なようでいて、一番難しいかもしれませんね。

◆5/12 Aさん：

はじめまして 私は 「毎日新聞」を拝見して以来の読者です。
この度 『電子耕』のご体験を出版なさる由、喜んで参加させていただきます。

ところで 私自身、1940年生まれで一昨年退職し現在は学生です。
退職以来 家事の合間の勉学も遅遅としたものですが、得る事が多く、
金銭には替えられません。

さて アンケートについて 番号で示します。

- 1、<読者の声>は、各年代層からの発信は感心したり、共感したりと、毎
回楽しみです。
- 2、コラム<舌耕のネタ>は特に興味を持って読んでおります。
行間の端々に豊かな知性が感じられてころ豊かになります。
- 4、<農業情報>現在は農業とは無縁ですが、生家は農家なので興味があ

ります。今、後継者がなく、かなり広大(?)な土地(畑)耕作に悩んでいます。農業に意欲のある方の出現を望んでおり、今農協に申請中です。

<日本たまご事情>も 愛鶏園の斎藤さんの情報やお便りから、その人柄の優しさと経済効率ばかりにとらわれない経営者としての姿勢が感じられいつも楽しみです。

5、<農業・図書情報>話題図書や農文協図書情報などは欠かせません。

6、人物紹介や庶民の歴史、近藤康男氏の近況報告には、ただ単に長寿というだけでなく、人間として如何に生きるかという、その前向きさにいつも圧倒されます。信念がおありなのですね。とても羨ましい人生です。

7、編集・発行人の考え方

今のこの政治状況を思うとやるせなくなります。でも、その点、原田さんの基本的な考え方に賛成です。いつも共感を持って読んでいます。

今、国会では言葉を変えて「戦争」を「有事」とし、「官・政」を「個人」とした”保護法案”を成立させようとしています。

「政」と「官」が国民の自由を制約しようとしているのです。その「政」を選んだのは国民であり、危険な事はみな末端の国民に降りかかるのです。健康保険でも「政府管掌」は真っ先に3割ですし、「消費税」の引き上げの話も出始めました。

政府は「機密費」は湯水のように使い、軍事費はうなぎのぼり、そこで不足分は「消費税」。たまったものではありませんね。

国民も考えなくてはなりませんね。選挙時のあの一票が自分の身に降りかかるのですから。

一年前の国民は何だったのでしょうか。新聞などの情報に気をつけて見ていれば”YKK”の動向はわかっていた筈だと思いますし、あの・・・「靖国神社」の”英霊”に参拝するような首相ですから・・・
今となっては しっかりと監視するしかありませんね。われわれには。

長くなってすみません。自由にものが言えることは当たり前ですが、これが「否」とならないように祈ります。

原田さん どうかお体ご自愛ください。

◆5/12 T. Kさん

ほとんど読んでいます。熟読する場合もあれば簡単に一読の場合もあります。

配信を受けた理由は、このメールを支えておられる方々は老若男女問わず、しかも農業関係の方が多く、30代後半の独身女性である私には接する機会の少ない方々であるからです。職場や友人だけではある程度偏りができてしまいます。さまざまな方々の考えていることを知りたくて配信を受けました。

最近は無洗米の件が出ていましたが、普段の情報源では入らない情報です。考えさせられました。

私は地方都市にできるある文化公共施設に関してその是非を自治体に問うているシビックトラストのメンバーですが、その活動を通して、マスメディアの報道には偏りがあり、かつ報道すべき件も場合によっては伏していることがあるのがわかりました。ですから、こういったネット上で個人が発信する情報こそマスメディアに取り上げられなくても実は重要な事があるのではないかと考えています。

日本は食糧自給自足ができることこそ、早急に取り組まなければならないことだと思います。簡単にできることではありませんから。

今のまま、声を聞かせていただきたいと思います。

◆5/15 青木さん

電子耕いつも興味深く読んでいます。

アンケートについて

近藤先生の近況は臨場感があります。師匠と弟子の関係が世紀を超えて続いているさまはワビサビの世界という感じです。

なお、5/10に「農産物のダイレクト販売」という本を青山浩子さんと共著で刊行します。またよろしく願います。

(有) ベネット

〒164-0001 東京都中野区中野 5-32-4-307

TEL 03-5913-2627 FAX 03-5913-2628

青木隆夫

83.2 号へつづく

『電子耕』から大切なお知らせ

<http://nazuna.com/tom/10.html>

<本誌記事の無断転載を禁じます>

隔週刊「77歳が送る農業文化マガジン『電子耕』」 第83.1号

バックナンバー・購読申し込み/解除案内

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

2002.5.16 (木) 発行 西東京市・ひばりが丘 原田 勉

<mailto:tom@nazuna.com>

発行部数 1711部 ** ここまで『電子耕』*****